

10/8 甘さの詰まったスチューベンをPR

宮下知事を表敬訪問「つるたスチューベンPR」

相川町長と津軽ぶどう協会（太田吉信会長）が青森県庁を訪問し、宮下知事に今年度産のスチューベンの生産状況報告やスチューベンぶどう祭りのPRを行いました。

今年度産のスチューベンについて、太田会長は「天候に恵まれ、糖度が高く着色の良いブドウができました」と報告しました。

今年度産のスチューベンを試食した宮下知事は「フレッシュで濃厚な甘さでとてもおいしい。県外への発信に力を入れていく」と話していました。



宮下知事にスチューベンをPRした津軽ぶどう協会



ゆうパックの積み込みを手伝う園児

10/11 全国にスチューベンが発送開始

スチューベンゆうパック出発式

スチューベンのゆうパック出発式が道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で行われ、今年度産のスチューベンが全国に発送されました。

出発式では、ひなづる幼稚園の園児たちが和太鼓演奏を披露し、ゆうパック出発をお祝いしました。また、園児たちはトラックへの積み込み作業もお手伝いしていました。

スチューベンが積み込まれたトラックは関係者に見送られながら全国へ向けて出発していきました。

10/11 ポスターで火の用心を呼びかける

五所川原地域防災協会 第2回防火ポスターコンクール

五所川原地域防災協会が開催した第2回防火ポスターコンクールで、鶴田小学校の児童の作品が特選に選ばれました。

五所川原市、鶴田町、中泊町の小中学生を対象に作品を募集し、61作品の応募がありました。特選には鶴田小学校5年生の吉川輝琉さんが選ばれました。また、準特選には同小3年生の齋藤椿姫さんが選ばれました。

吉川さんの作品は、火災予防啓発ポスターとして五所川原管内の公共施設などに掲示されます。



吉川輝琉さんと特選に選ばれた作品

地域おこし 協力隊通信

Vol.75 (筆：葛西 忍)

この度、無事スチューベンの収穫を終えることができました。ご指導、ご協力、声をかけてくださった皆様のおかげと存じます。この紙面をお借りしてまずはお礼方々ご報告させていただきます。

さて先日、「ぶどう作りで何が一番難しかったですか」と問われる機会が立って続けにありました。振り返ってみると・・・「防鳥網の設置」いわゆる網張りでしょうか。妻と2人でおこなったこの作業、あちを引っ張れば、こっちが足りず。こっちに引っ張ろうとすると引っかかる。遅々として進まぬ作業に不穏で険悪な雰囲気。2人の間に流れる流れる。聞くとこの網張り、夫婦げんかの種になるだとか。なるほど身をもって体験したわけです。かつて学んだ「アンガーマネジメント」。イラっとしたら6秒待つ。仕舞われるのを待っているネットを見ながら心に誓う私です。



△防鳥網を設置する葛西さん



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



放水訓練を行う消防団員

10/13 空気が乾燥する季節を前に注意喚起

鶴田町消防団 秋の火災予防運動

10月21日から27日までの7日間、秋の火災予防運動が実施され、13日には鶴田町消防団（小野政彦団長）による事前広報パレードが行われました。

パレードでは査察者の相川町長や小野団長らが消防車両で町内を巡回しながら町民に火災予防を呼びかけました。また、旧胡桃館小学校、旧富士見小学校、役場駐車場に各地区の消防団員らが集まり、査察者からの人員服装姿勢点検を受けたり、機敏な動作で放水訓練を行っていました。

10/21 津軽弁やイラスト入りのりんごを収穫

妙堂崎地区 拓紅園・絵入りりんご収穫

妙堂崎地区のりんご農家・中野光彦さんの園地で、個性豊かな「絵入りりんご」の収穫が行われました。

絵入りりんごは、赤く色づく前のりんごにシールを貼ることで日が当たらなかった部分が白く浮かび上がります。この日は津軽弁やイラストなどが入った「陸奥」約500個を収穫しました。

中野さんは「今年はこちら数年で最高の出来です。家に飾って楽しんでほしい」と話していました。

中野さんの絵入りりんごは10月23日から道の駅つるたで販売されています。



拓紅園の個性豊かな絵入りりんご



大会での勝利を誓った佐藤さん、中畑さん、下山さん（右から）

10/22 社会人バスケット 全国大会での勝利を誓う

西北五シニア 全国大会出場

バスケットボールチーム「西北五シニア」に所属する町民3人が町役場を訪れ、相川町長に全国大会出場を報告しました。

同チームは9月下旬につがる市で行われた東北ブロック予選で2位となり、11月23・24日に富山県で行われる「第7回全日本社会人0-40バスケットボール選手権大会」に出場します。報告に訪れた下山央さん、中畑隆司さん、佐藤竜太さんは、全国大会での優勝を誓っていました。



Vol.76 (筆：葛西 あゆみ)

今年度のスチューベン収穫を無事に終わることができました。師匠をはじめ温かく見守ってくださった皆様に感謝申し上げます。今後は出荷作業と並行して園地の片付けや補修などを行っていきます。引き続きご指導いただければ幸いです。

肌寒くなり、雪の準備も進めなくてはと焦りますが、鶴田町では秋のイベント盛りだくさん！役場駐車場で開催された『つるタウンマルシェ』では子供と高所作業車に乗り、足が震えましたが見晴らし最高でした。『鶴の舞橋ライトアップイベント＆秋まつり』ではハロウィンイベントに参加し、秋のレジャーも楽しむことが出来ました。

鶴田町に来て1年半、いつの間にか津軽弁も耳になじんできたように思えてうれしい限りです。新しく覚えた単語は、「やっ」と「(直ちに)」「はい」と「(はいどうぞ)、次はどんな津軽弁に出会えるか楽しみです。



△収穫をする葛西さん

△高所作業車に乗る葛西さん



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。